

トルコの金融市場動向 Weekly Report

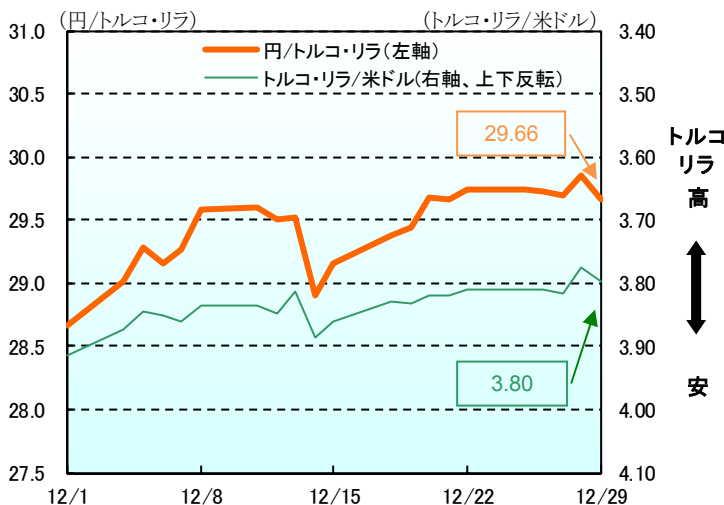
【2017年12月23日～2017年12月29日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円ではほぼ横ばいでの推移となりました。またトルコの2年国債金利についても、ほぼ横ばいでの推移となりました。

11月の貿易収支はほぼ市場予想通りの結果となったほか、在トルコ米国大使館が2017年10月から一部停止していたビザ発給業務手続きを正常化すると発表しましたが、取引が閑散となる中、為替、債券ともに動意に乏しい展開となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年12月1日～2017年12月29日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

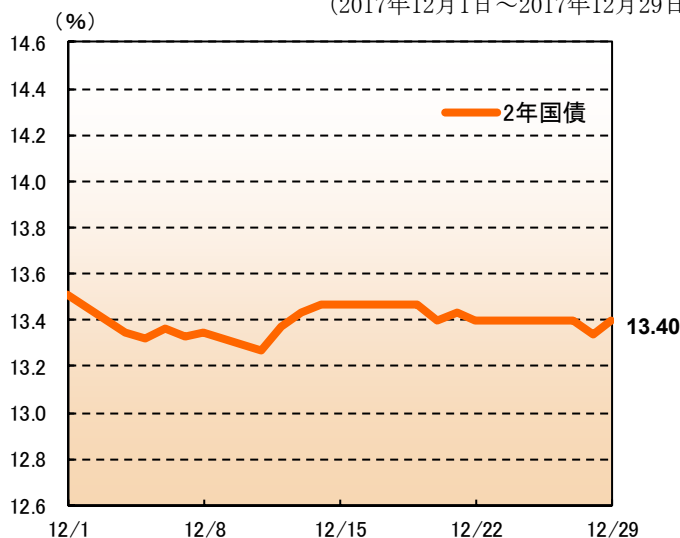
【2】今週の見通し

今週は12月消費者物価指数の発表が予定されています。2018年も中央銀行の金融政策姿勢がトルコ・リラの安定につながり、インフレへの対処が進むかが相場を動かす材料になりやすい環境は変わらないと考えます。

また2017年後半にトルコ・リラ安が進むきっかけとなった、トルコと欧米諸国の関係性やそれに伴う政府関係者の発言については、今後もトルコの金融市場に影響を及ぼす可能性があり、状況を注視していく必要があると考えています。

【トルコ 金利推移】

(2017年12月1日～2017年12月29日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management